

協力型、初期および後期臨床研修

基幹型病院の依頼に基づき、基幹型病院が設定する研修の一部を担います。

応募は基幹病院にて行っています。

- 基幹型病院名：岡大附属病院、山大附属病院、関門医療センター、山口県立総合医療センター、小郡第一総合病院、宇部興産中央病院、済生会山口総合病院
- 当院での研修領域：呼吸器内科、呼吸器外科、緩和ケア内科
- 研修期間：1 か月－3 か月

【当院の特徴】

当院は、山口県西部の瀬戸内海（周防灘）に面した宇部市の病院です。一般病床 215 床、結核病床 30 床、重症心身障害児病床 120 床の計 365 床で、がんの診療、呼吸器疾患の診療、重症心身障害児（者）の診療/療育を三つの柱と考えて、非常に特化した医療に取り組んでおります。また、山口県から「がん診療連携推進病院（肺癌）」と指定され、山口県における肺癌診療の中核病院としての役割を果たしていますが、緩和ケア病棟を有していますので、緩和ケアの中心的な施設でもあります。

当院の年間入院患者実績は、肺癌が最も多く、毎年 600 例以上が入院し、200 例弱の症例が手術を受けております。また、胸膜中皮腫は全国から紹介を受けております。良性呼吸器疾患では肺炎、間質性肺炎 COPD、気管支喘息が多いのですが、山口県の基幹施設ということで、多数の重症例が県内各地から救急搬送されており、4 床の ICU を利用して積極的な呼吸管理を行っております。また、サルコイドーシス、過敏性肺臓炎、ANCA 関連疾患などあらゆる呼吸器疾患が紹介されてきます。肺結核は減少傾向にありますが、山口県で唯一の入院施設ですので、現在でも毎年 100 例程度が入院しています。検査では気管支鏡検査を積極的に行っており、毎年 700 件以上の検査が行われており、超音波内視鏡、蛍光内視鏡、極細径内視鏡、硬性気管支鏡によるステント挿入、EWS なども行っています。

現在、呼吸器内科医/腫瘍内科医 14 名、呼吸器外科医 7 名、放射線診断医 2 名、放射線治療医 1 名と肺癌、呼吸器診療に特化した体制が組みられています。肺癌・呼吸器疾患に関する治験、臨床試験には多数参加しており、国内の学会発表のみならず、米国癌治療学会 (ASCO)、米国胸部疾患学会 (ATS)、欧州呼吸器学会 (ERS)、世界肺癌学会 (IASLC)、国際免疫学会 (ICD) などの国際学会にも毎年当院から演題を提出しております。病院からの眺望も当院の特色の一つです。

【研修理念】

- 日常の一般的な診療に適切に対応できる基本的な診療能力を身につける。
- 自ら問題を解決し、次の医学界をリードする人材を育成する。

【研修の特徴】

医師として日常の一般的な診療に適切に対応できる基本的な診療能力を身につけるため、肺がん、非がん呼吸器疾患、障害児（者）症例に多く接するプログラムを設定している。

【各研修目標】

・呼吸器内科

1. 一般的な種々な呼吸器疾患の診療に携わる。
2. 胸部疾患診断に必要な問診、身体所見、血液検査所見、胸部の聴診、胸部単純X線写真、胸部CT、肺機能の基礎を身につける。
3. ガイドラインやエビデンスに基づく標準的治療を理解する。
4. インフォームド コンセントについて理解する。

・呼吸器外科

1. 一般的な種々な呼吸器疾患の診療に携わる。
2. 胸部疾患診断に必要な問診、身体所見、血液検査所見、胸部の聴診、胸部単純X線写真、胸部CT、肺機能の基礎を身につける。
3. ガイドラインやエビデンスに基づく標準的治療を理解する。
4. インフォームド コンセントについて理解する。
5. 呼吸器外科医に必要な一般的処置や手術手技の修得

・緩和ケア内科

1. 悪性腫瘍の緩和ケア診療に携わり、疼痛、譫妄などの診断やコントロールの基礎を身につける。
2. インフォームド コンセントについて理解する。

実績■ 平成 26 年度研修予定者：初期研修 10 名、後期研修 2 名

宿舎・住宅：あり（院内宿舎料及び光熱水量：無料）

院内保育所：あり

通勤手当支給あり

【問い合わせ先】

TEL 0836-58-2300 副院長

【各研修プログラム】

呼吸器内科プログラム

1. コンセプト

呼吸器内科医として基本的手技の修得と診断から治療への過程を経験する。

2. 短期目標

- 1) 呼吸器疾患の主要症候と身体所見の理解
- 2) 呼吸器疾患の基礎的検査、手技の修得
- 3) 呼吸器疾患の診断・治療の実践

3. 研修する疾患

肺腫瘍性疾患（肺癌など）、胸膜疾患（悪性中皮種など）、縦隔疾患、感染症および炎症性疾患（肺結核を含む）、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、細気管支炎（びまん性汎細気管支炎など）、アレルギー性肺疾患、特発性間質性肺炎、サルコイドーシス、稀少性肺疾患（肺胞蛋白症、肺リンパ脈管筋腫症など）、じん肺症、肺循環障害、薬剤・化学物質・放射線による肺障害、全身疾患に伴う肺障害（膠原病肺など）、呼吸中枢の疾患（睡眠時無呼吸症候群を含む）、慢性呼吸不全、急性呼吸不全（急性呼吸促迫症候群）

呼吸器外科プログラム

1. コンセプト

呼吸器外科医として最も基礎となる手技の確実な修練を目指す。

2. 目標

- 1) 呼吸器外科医に必要な一般的処置の修得
- 2) 呼吸器外科医に必要な検査手技の修得
- 3) 呼吸器外科医に必要な手術手技の修得

3. 取得手技

気管内挿管、人工呼吸管理、気管支鏡検査、胸腔鏡（手技および診断）、CTガイド下生検、開胸・閉胸術、肺部分切除術、肺のう胞切除術、肺縫縮術、気管切開術、胸腔ドレナージ術

4. 経験目標件数

手術	目標件数（1年）
肺葉切除術	10
肺区域切除術	3
肺摘除術	2
縦隔腫瘍切除術	3
胸腔鏡下肺葉切除術	10
胸腔鏡下肺区域切除術	2

緩和ケアプログラム

1. コンセプト

腫瘍内科学に欠かせない終末期緩和ケアを修得する。

2. 短期目標

終末期患者の症状コントロールを学ぶ。

終末期患者の精神的ケアを学ぶ。

3. 短期取得手技

鎮痛剤の使用法、モルヒネの使用法、緩和ケア特有の症状コントロール法、不安・抑うつへの対処法、家族への対処法

指導医名簿

氏名	職名	専門医など
上岡 博	院長	岡山大学医学部臨床教授
		山口大学医学部臨床教授
		日本肺癌学会理事
		日本癌治療学会評議員
		日本臨床腫瘍学会評議員、暫定指導医
		日本呼吸器学会代議員
		日本老年医学会代議員、指導医
松本常男	副院長	山口大学医学部臨床教授
		日本医学放射線学会診断専門医
		日本医学放射線学会代議員
		日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医
		山口県成人病管理指導協議会肺がん部会会長
岡部和倫	統括診療部長	呼吸器外科専門医
		日本呼吸器外科学会指導医、評議員
		日本胸部外科学会指導医
		日本外科学会専門医・指導医
		日本呼吸器学会専門医・指導医
		日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医
		日本肺癌学会評議員

		ECFMG Certificate (米国医師資格)
石田浩一	内科医長	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
前田忠士	内科系診療部長	日本呼吸器学会専門医
		日本臨床腫瘍学会暫定指導医
		日本呼吸器内視鏡学会専門医
		日本内科学会専門医
青江啓介	内科系診療部長	日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
		日本呼吸器学会専門医、指導医
		日本呼吸器内視鏡学会指導医
		日本臨床腫瘍学会暫定指導医
		日本癌治療学会暫定教育医
		日本肺癌学会評議員
		環境省中央環境審議会専門委員
近森研一	腫瘍内科医長	日本内科学会認定医
		日本呼吸器学会専門医
平澤克敏	乳腺・消化器外科医 長	日本外科学会専門医
		日本消化器外科学会認定医
		マンモグラフィー検診精度管理中央委員会読影認定 医
小野光弘	精神科医長	精神保健指定医
		日本てんかん協会山口県支部副代表
		総合病院精神医学会専門医